

## 平成23年度 事業報告書 事業状況

### 1. 日独学術文化に関する研究並びにその助成（寄附行為第4条第1号）

公開シンポジウムの開催 平成24年2月5日（日）京都大学人間・環境学研究科棟 地下大講義室において、第21回公開シンポジウムを開催した。連続テーマ『生と死』の第3回目として、鷺田清一氏（大谷大学教授・前大阪大学総長）に「死なれるということ」、秋富克哉氏（本研究所理事・京都工芸繊維大学教授）に「死を死として能くすること—ハイデッガーの技術論をもとに」と題する基調講演を依頼した。また、パネル討論では講演者をパネラーに迎え、司会に谷徹氏（本研究所理事・立命館大学教授）、コメンテータとして木村敏氏（京都大学名誉教授、日独文化研究所理事）、高田篤氏（本研究所理事・大阪大学教授）の各氏に依頼した。約100名の参加を得て活発な討論が展開された。

なお、本シンポジウムは研究者に対する研究助成の意図も有するので、助成事業（研究助成）として実施した。

### 2. 賛助会員年次総会の開催

平成23年11月30日（水）京都全日空ホテルにて平成23年度賛助会員年次総会を開催した。講演会を高田篤氏に「ドイツにおける民主制論—その文脈と意義」の演題で依頼した。また、音楽会としてギター及び二胡の演奏を、山本幸二氏、陳曼麗氏に依頼した。引き続き、懇親会をおこない、約80名の賛助会員との交流を深めた。

\*なお、以下については、平成24年度に実施が延びた。

学術文化に関する図書雑誌の編集及び出版刊行（寄附行為第4条第2号）

平成24年6月に刊行予定

日独学術文化に関する講習会・講演会等の開催（寄附行為第4条第3号）

平成24年度実施予定